

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者	
基礎看護学方法論Ⅱ	2年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	木竜理恵子 ※	
授 業 概 要						
<p>看護職の業務のひとつである診療の補助業務は、対象の健康回復に不可欠である。しかし、同時に危険行為が介在する。今日多発する医療事故を防ぐためには、診療の補助技術が対象に及ぼす影響と危険性を熟知し、安全な技術を身につける必要がある。</p> <p>ここでは、与薬を通じて、3年次に学ぶ医療安全につながる基礎的な内容を習得する。</p>						
到 達 目 標						
<p>1. 与薬に伴う危険性を知り、安全に与薬するための方法を述べる。</p> <p>2. 様々な与薬法実施時の留意点を述べる。</p> <p>3. 注射法の実施に伴う安全確認及び、注射薬投与の準備ができる。</p> <p>4. 注射法を、対象の安全・安楽に留意しながらモデルを用いて実施する。</p>						
回	学 習 内 容				担当教員	
1・2	<p>1. 薬物療法と看護の基礎</p> <p>1) 与薬における看護師の役割と法的根拠</p> <p>2) 与薬に関わる事故と予防するための看護</p> <p>3) 薬物療法を受ける対象の看護</p>				木竜理恵子 ※	
3・4	<p>2. さまざまな与薬法を受ける対象の看護</p> <p>1) 経口的与薬法(内服・口腔内与薬)</p> <p>2) 直腸内与薬</p> <p>3) 吸入与薬</p> <p>4) 経皮的与薬</p> <p>5) 点眼・点鼻・点耳</p>					
5・6	<p>3. 注射法を受ける対象の看護</p> <p>1) 注射法の技術と基礎知識</p>					
7・8	<p>2) 筋肉内注射の準備と注射モデルを用いた実施(学内演習)</p>					
9・10	<p>3) 点滴静脈内注射を受ける対象の看護</p>					
12・13	<p>4) 点滴静脈内注射の準備と注射モデルを用いた実施(技術試験)</p>					
14	<p>4. 中心静脈カテーテル刺入および中心静脈栄養を受ける対象の看護</p>					
15	<p>5. 輸血療法を受ける対象の看護</p>					
学 習 方 法						
<p>講義、学内演習、グループワークによって学習の到達を目指す。講義内容の暗記ではなく、自ら学習して理解することに留意する。学内演習ではポイントを押さえて技術を実施できるよう、練習をして臨む。</p>						
評 価 方 法						
<p>[評価方法]</p> <p>科目修了試験、技術試験、小テスト</p>						
先 修 科 目						
なし						
教 科 書、参 考 書						
<p>[教科書]</p> <p>新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学④ 臨床看護総論 編集 宮脇美保子 メヂカルフレンド社 写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス 編著 吉田みつ子 本庄恵子 インターメディカ 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院 今日の治療薬 編集 浦部晶夫 他 南江堂</p>						